

2. 全国的な学力調査の実施（概要）

全国的な学力調査の実施

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、
国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- 学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

令和6年度調査の実施等

【本体調査：悉皆調査】

調査日：令和6年4月18日（木）

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒

調査事項：①教科に関する調査（国語、算数・数学）

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査（児童生徒／学校）

※質問調査は、全面的にオンラインによる回答方式で実施。

【経年変化分析調査：抽出調査】

調査日：令和6年5月13日（月）～6月28日（金）

調査対象：抽出された小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒

全国でPBT実施校、CBT実施校それぞれ、小学校600校程度、中学校750校程度

調査事項：国語、算数・数学、中学校英語

【専門家による追加分析調査】

国、教育委員会、学校における教育施策や教育指導の一層の改善を図るため、学力調査を活用し、大学等の研究機関の専門的な知見を活用した高度な分析・検証に関する調査研究を実施。

令和7年度調査の実施（予定）

調査日：令和7年4月17日（木）

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

調査事項：①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査（児童生徒／学校）

※中学校理科は、4月14日～17日までの4日間で分散して、オンラインによる解答方式で実施。